

「日本の水事情」

水は、私達のこれからの生活、そしてこれからの生きるための大切な資源です。ですが日本は利用できる水は少ないのです。日本は水に恵まれているかのように見えますが実際には恵まれていません。ですが日本は、水不足には見えません。水は、食料品や日々の生活、衣服の原材料の綿などにも水は関連しています。そして日本は人口が多い分、大量の水が使われています。ではなぜ、日本の人々は「水不足」を感じないのでしょうか。1つの理由として、多くの水を「輸入」しているからです。といっても大量の水を海外から運んでいるわけではありません。日本の食料自給率は39%でとても低く、国内生産されたものだけではまったりしません。そこで、大量の食料を輸入することで、水資源を海外に頼っています。

平群町立平群中学校 二年

中筋 穂奈実

穀物、畜産物を育てるには膨大な水が必要です。例えば麦は1kg育てるには、約2tの水。そして米は1kg育てるには、なんと約3.6tも必要なのです。畜産物で言えば、牛肉1kgに約20.6tの水。豚肉は約5.9tです。このように穀物、畜産物だけでも膨大な水が必要です。ですが水は、農畜産物だけにしか使われるわけではありません。他にも、工業と生活でも使われています。輸入穀物・畜産物を国内で育てた場合、どれぐらいの水が必要なのか。この必要とする水の量を「バーチャルウォーター（仮想水）」と言います。

東京大学の沖教授らの研究グループでは、「日本の仮想水量は世界最大」と言っています。主要穀物（大麦・小麦・大豆・トウモロコシ・米）、畜産物（牛肉・豚肉・鶏肉）の

輸入品の仮想水は年間627億tにもなりません。そして国内の農業用水使用量は約570億tなので、仮想水を下回っています。

私は、今回「日本の水不足」について数多くの資料を見たのですが、1つ思ったことがあります。なぜ日本は水不足に気づかなかったのかということですが、私の考えでは日本が島国ということもあり、身近に水があるからではないか、という考えです。そしてなぜこの水は使えないのかということも気になりました。

調べた結果日本は、現在この水を淡水にする作業は行われているそうです。その場合、広大な土地はもちろんですが、費用などのコストに負担がかかりすぎる。そのこともあってか、あまり日本はしていません。

私は「水不足」が自覚することが大事ではないかと感じました。私達は水はずっとあるものだと思っていますが、アフリカなどの貧しい地域の人々は少しの水でも大切なものです。そんな中、大量の水を使っているのは少しおかしいと思います。そして、「地産地消」したほうが良いと思います。たくさんの人々

が現在農業から手を引いています。もともと日本の人々が農業という職業についてほしいです。そして、水の大切さをたくさんの人々が気づいてほしいです。

参考資料

○朝日新聞GLOBE

○植物工業研究所

○仮想水 Wikipedia

○Virtual Water

○海水淡水化 Wikipedia